

人生一度きり!!

一緒にかげがえのない
時間を創りませんか?



青年会議所(JCI)とはより良い社会づくりを目指し、ボランティアなど社会的課題に積極的に取り組んでいる団体です。

年齢20~40歳の青年で 学歴、資格は不問です!!

男女、国籍問わず地域活動活性に興味ある方!!

いつでもご相談、お問合せお待ちしております!!

<http://www.morikado-jc.com/>

お問合せ

TEL:06-6998-0781

office@morikado-jc.com

青年会議所入会案内

一般社団法人 守口門真青年会議所
〒570-0038
大阪府守口市河原町10-15テラス2F217
TEL:06-6998-0781
FAX:06-6998-0782
<http://www.morikado-jc.com/>
office@morikado-jc.com



LINE
公式アカウント



守口門真青年会議所シニアクラブ会長 × 守口門真青年会議所
足田貴之 東野篤史
世代を超えた交流・親睦・協力



PASSION MORIKADO

<http://www.morikado-jc.com/>

●2020年10月10日発行

●編集・発行 一般社団法人 守口門真青年会議所

2020

10

ご挨拶

怒 清の2020年もいよいよ残すところ僅かとなって
きました。JCではこの時期になると、これまでを
振り返り、そして新たな一年に向けての準備を始めてい
ます。新型コロナの早期終息は願うものの、翌年へも影
響は残るものと思われま。これまで得た経験から何を
学び、どの様に準備を進めるかが例年にも増して問われ
ています。さて、今回は守口門真YEGの斎藤会長と対
談を行いました。これまでも、何度か交流の機会はあつ
たものの、具体的な活動を共同する機会は少なかった
ように思われます。今回、対談を快く引き受けていただ
き、お互いのこれまで行った事業を振り返り、共同する
ことでよりインパクトの大きい活動に繋がる可能性を感
じることができました。また、コロナ禍での災害を想像
すると、問題や課題は多くあるのではないのでしょうか。
平常時に於いても災害時には、多くの力を必要とします。
これまで以上に、想像力を広げ、様々な有事をシミュレ
ーションする必要性を感じています。そして、様々な知
見をお持ちの方々との意見交換の場を設け、有事に備
えることが急務であると考えています。共助といわれる
地域コミュニティの力をJCとYEGそして様々な団体と
より強固にする。そんな可能性を再認識するとともに大き
な機会となりました。普段行っている活動や目的は様々
ですが、今般の新型コロナウイルス終息を願う気持
ちは同じです。これは、皆さまが願うことであり、新型コ
ロナウイルスをきっかけに様々なパートナーシップと協調
し、今まで以上に絆は強くなっていると感じました。この
機会を通じてこれまで以上に強い守口市、門真市を創
造して参りますので引き続きのご支援ご協力よろしくお
願います。



プロフィール
一般社団法人守口門真青年会議所
第16代理事長 東野篤史 35歳
2015年8月守口門真青年会議所入会

職業:介護事業
株式会社フラップ 代表取締役



守口門真青年会議所メンバー紹介

卒業した先輩に質問してみました!!



新居 正夫
2013年度守口門真JC入会~2018年度守口門真JC卒業
2018年度 第14代理事長
Alive Logistics株式会社 代表取締役
運送業

「一番思い入れある事業は何ですか?」
守口門真市の市民プラザで開催した市民祭りです。事前準備から行政・各種団体・市民の方と関わる機会が多く、青年会議所を知って頂く良い機会となりました。当日の活気を思い出すとまちの活性化に繋がったと確信しました。

「入会して良かったことは?」
自己成長と人脈が広がったことです。コミュニケーション能力が乏しく、ネガティブ思考の自分が活動を通じて、多くの方と関わりポジティブ思考に変わりました。異業種の方との交流も多かったので人脈が広がりました。

「社外に繋がったことは?」
日本青年会議所の支援団体で業種別部会連絡会議という団体があります。その中の物流サービス部会に入会していました。年に数回行われる部会に参加して、全国の方と交流を図り、多くの会社と取引することができました。

「30歳からのJC生活」
40歳までという限られた時間を生かすも殺すも皆さん次第です。退会や卒業してからの後悔は何の意味も持ちません。家族・仕事の時間を削ってまで活動する意味をよく考えて、後悔しないように全力で活動してください。



高藤 俊行
2003年度守口門真JC入会~2018年度守口門真JC卒業
FM-HANAKO ゆめのたね放送局 ラジオパーソナリティー
Earth Friendship Festival実行委員会 広報担当実行委員

「入会して良かったことは?」
愛の鈴贈呈事業です。この事業は入会をした守口門真JCのときから新小学1年生の交通安全啓発を目的に行われており、私も入会翌年度からこの事業の担当委員長となった2007年度を除く卒業年度の2018年度まで毎年母校の小学校の入学式で贈呈をさせていただきましたので思い出がいっぱいあります。

「異業種の方と繋がったことは?」
たくさん異業種の方々とのご縁ができましたし、おそらくJCに入会をして理事まで経験させていただいていなかったらノートパソコンを駆使してWord、Excel、PowerPointでデータを作成したりクラウドを活用したりということをもっとしなかったと思いますのでITの部分でも色々勉強をさせていただいて良かったです。

「ピンチのときにネガティブに後ろ向きなことばかり考えるのではなく、ポジティブに前向きな解決策を考えるようになりました。また、卒業後に新たな学びの機会を自ら求めるようになりました。」

「今年新型コロナウィルス問題で予期せぬことが多数起きていますが、ぜひ卒業をめざして活動をつづけて下さい。JCには学び方、お役の受け方によって様々な景色がありますが、私は多くの関わりを経て迎えた卒業式が最高の景色でした。ぜひ既存メンバーのみなさんにもこの最高の景色を味わってほしいと思います。」

「世代を超えた交流・親睦・協力」



守口門真青年会議所 理事長

東野 篤史



守口門真青年会議所 シニアクラブ 会長

延田 貴之

変装してパロディーにして皆で楽しく討論会をしました。この例会をするにあたり委員長や担当委員会メンバー、同期メンバーで企画、毎日の様に練習、準備をする中で絆が深まり色々なメンバーと友人になりました。

理事長：私も11月の新人例会は思い出深いです。最初の入会時は何も分からない状態のなかで新入会員同士が取り組む11月度例会はJCという団体を知っていく機会でもあり同期メンバーとの交友を構築する良い機会になったと思います。

正田会長：色んな事業を行っていくなかで、色々な意見を言い合ったりしながらメンバーと仲良くなり、友人ができました。そして副委員長をさせて頂いた時には委員長を支えようという気持ちで挑みました。最後の卒業の年には委員長もさせて頂いて、周りに何度も助けて頂いたことで、JC活動を続けていくには仲間の存在の大切さを教わることが出来ました。



ためにもスーツを着て会議に挑むことの意味ではありました。一概には言えませんが、気持ちのモチベーションが下がらない意志が必要ですね。あとはメンバーを増やすのも大事なことです。メンバーの年会費で事業を賄っているのもメンバーが減ってしまうと継続事業も新しい事業活動を行うにも難しくなってきます。

理事長：事業を行うにあたって街のパートナーを増やすことで、活動範囲の幅増え新たな活動の可能性が広がること

MORIKADO JC 活動!!

9月度例会～目指せ!インクルーシブ社会～

守口市、門真市では重要文化財が多数あるにも関わらず、まちの魅力でもある文化財に触れることがあまりないと感じます。

そこで、我々メンバーが魅力あるまちを創造するためにもまずは地域の魅力を知ることが大事だと思いこの例会を行いました。

守口市、門真市の課題と向き合い、まちの価値の再確認として地域の宝である重要文化財を知ることが大切だと考え、誰もが安心安全に住み続けられるような魅力あるまちを創造することをテーマに守口市・門真市のまちの中を、車いすや



ゴーグル、ヘッドホンなどを使用し高齢者や障がい者の疑似体験をしながら様々な課題を調査してきました。疑似体験をするなかで、何気なく車や徒歩で通る道も様々な危険に変わること気付くことができました。

その体験結果をメンバーと魅力マップという形で作成し発表し合い、守口市、門真市に対して提言書も提出させて頂きました。

インクルーシブ社会の実現に向けての活動の一助となるようなまちの魅力を再確認できた例会となりました。



過去にこんな活動もしていました!!!

もりかどスポーツコン～走って笑って恋したい～

私たちのまちで人と人がつながり、新しい出会いを感じてもらうことを目的として、守口市、門真市の協力も得て2017年の9月にスポーツコンを開催しました!

当日は20歳から40歳までの男女を集い、風船運びリレーや綱引き、ドッチボール等で競技しながらコミュニケーションをとってもらいました。

大いに盛り上がり、カップルも誕生し、メンバーも参加して頂いた方も、皆が楽しく過ごせた事業を開催できました。



感動のドミノチャレンジ!!

～ひとはみんなのために、みんなはひとりのために～を掲げて2018年の9月に守口市、門真市の学生を集って3万個のドミノにチャレンジしました!!

たくさんの守口市、門真市の小学生～高校生の生徒さんが参加して頂きました!学校が違う生徒さん同士でしたが、ドミノを始めるとすぐに仲良くなり、高校生は小学生にコツを教えていて全員が一致団結して取り組んでいました。ミスをして励まし合うことが出来て、人への思いやりが培われたのではないのでしょうか。

こちらも皆さんに楽しんで頂き、無事に大成功となった事業でした。

